

### 徳島県食の安全安心推進条例

危機管理部

第7条 知事は、食の安全安心の確保に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、基本的な施策を明らかにした指針(以下「基本指針」という。)を定めるものとする。

### 徳島県食の安全・安心基本指針

- ① 消費者の視点・立場に立った食の安全・安心の確保
- ② 消費者, 生産者, 食品関係事業者, 学識経験者, 行政との協働による食の安全・安心の確保
- ③ 生産から消費までの一貫した食の安全・安心の確保

2

### 基本指針

危機管理部

## 食の安全・安心確保対策の8つの柱

- ① 食の安全・安心のための信頼確保
- ② 安全・安心な農林水産物の生産と流通
- ③ 安全・安心な食品等の製造・加工と流通
- ④ 食の安全・安心に関する知識の普及と相互理解の推進
- ⑤ 農林水産物、加工食品に関する調査研究及び試験検査
- ⑥ 人材育成と自主管理体制の支援
- ⑦ 危機管理体制の推進
- ⑧ 環境への取り組み

3

### ①-1 正確な情報提供

危機管理部

- ホームページ等による情報提供
- 食の安全・安心情報メール
  - 登録者: 157人
  - 発信数: 176件
  - 月平均: 3.3回
- 啓発資材の作成・配布
  - 食の安全安心Q&A
  - 食の安全安心すごろく

登録は、kenminkurashianzenkyoku@pref.tokushima.lg.jpに「情報メール希望」と送信

食の安全安心Q&A 食の安全安心すごろく

4

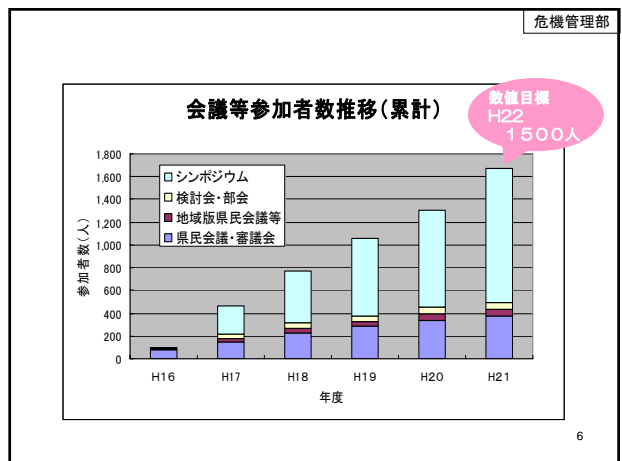
### ①-2 生産から消費に至る県民の相互理解

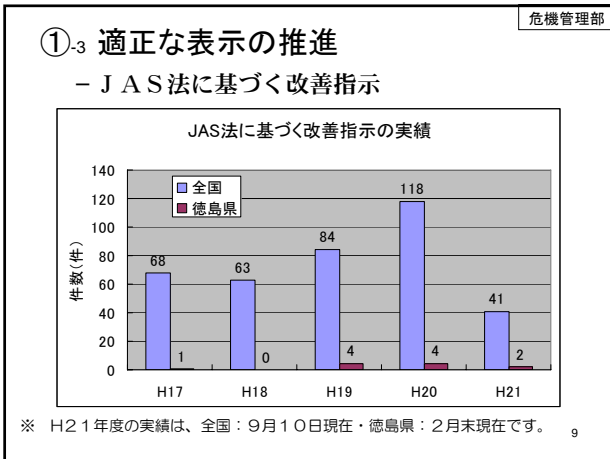
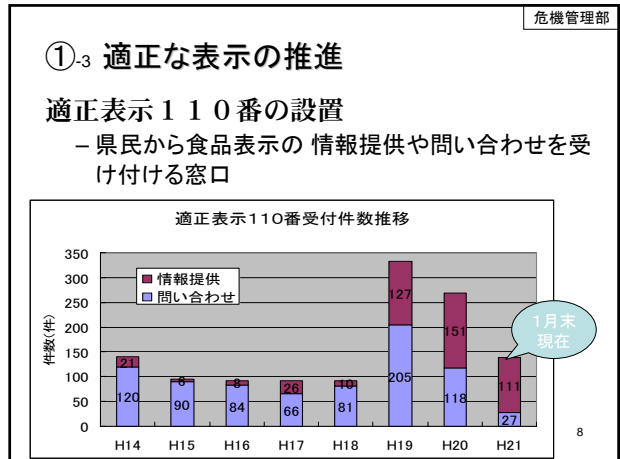
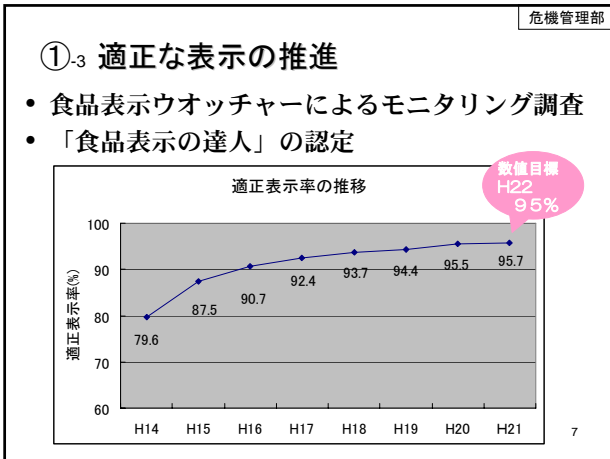
危機管理部

- 県民会議、審議会等を通じた相互理解の促進
  - 審議会(県民会議)の開催
  - 地域版県民会議等の開催
  - シンポジウムの開催

徳島県食の安全安心審議会 シンポジウム(消費者セミナー)

5





危機管理部

### ①-4 適正な表示の推進

- 研修会の開催
  - 食品表示適正化推進員養成講座
  - 食品表示ウォッチャー
- 適正表示啓発資材の作成・配布
  - 食品表示テキスト
  - 産直市における食品表示

10

危機管理部

### 平成22年度「食の安全・安心」確保事業

「食の安全・安心」への関心の高まる中、相次いで産地偽装の発生

**効率的な調査手法の検討が必要** **攻めの監視**

①科学的な分析技術を用いた、定期的監視の実施

- 効率的な調査
- 産地偽装等の早期解明
- 監視強化による未然防止

②企業のコンプライアンス意識の向上、消費者の食に対する正しい知識の習得

消費者の安全・安心の確保

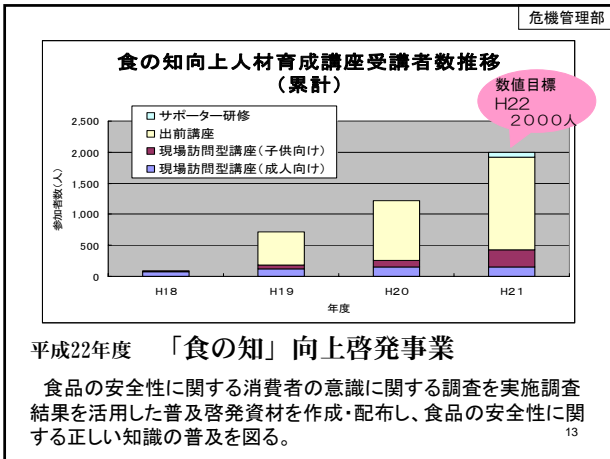
11

危機管理部

### ①-5 正しい食情報の知識と理解の促進

- 農業、食品添加物、健康食品等に関する正しい知識の普及
  - 成人向け現地訪問型講座(食の見て知って納得講座)の開催
  - 子供向け現地訪問型講座(キッズカレッジ)の開催
  - 出前講座(食の知お届け講座)の開催
  - 食の安全安心サポーター研修会

12

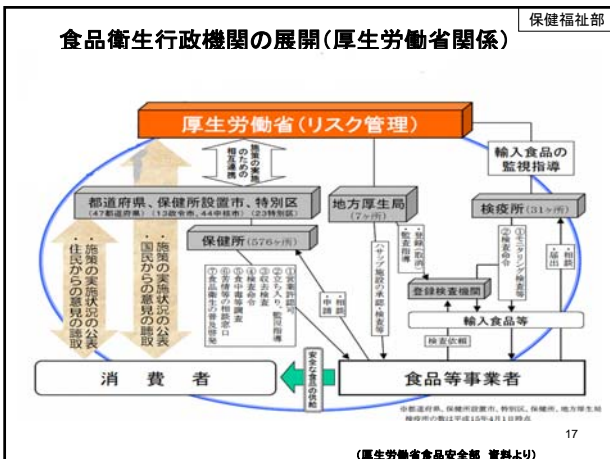
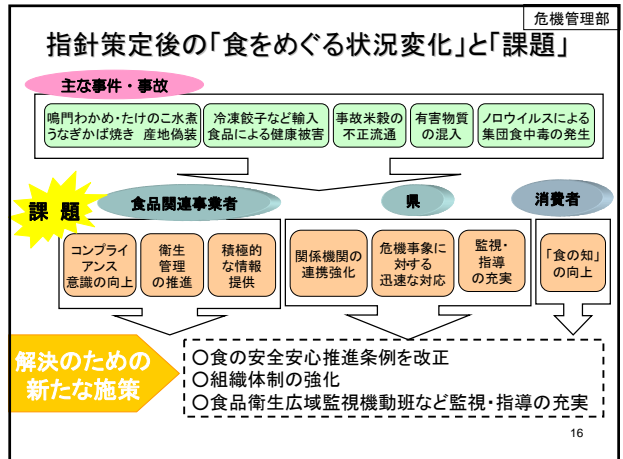
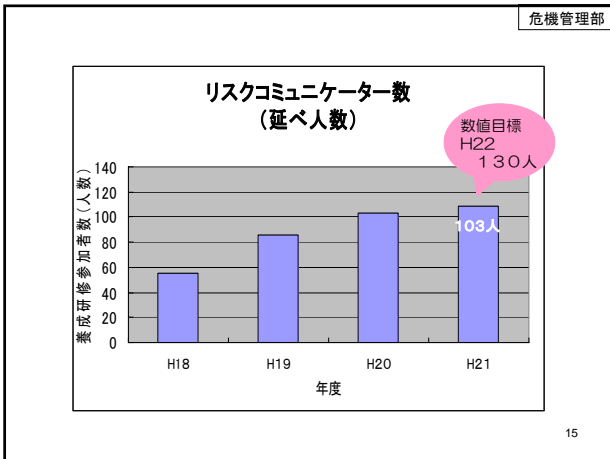


危機管理部

### ①-6 生産者、食品関係事業者の育成指導

- リスクコミュニケーターの養成
  - リスクコミュニケーター: 地域における食品の安全性に関するリスクコミュニケーションを積極的に推進するため、食品のリスク評価結果に関する科学情報とリスク評価結果が私たちの生活にどのように関係しているか、などを地域の方々にかかりやすく伝える役割を担う人

リスクコミュニケーター養成講座 14



保健福祉部

### 現状

**食生活を取り巻く状況の変化**

- 輸入食品の増加、流通の発達や多様化
- 食品の製造・加工技術の高度化
- 遺伝子組換え等の新たな技術の開発、分析技術の向上

**食の安全・安心を揺るがす事件**

- 国内初のBSE(牛海綿状脳症)の発生(平成13年9月)
- 輸入野菜の残留農薬や国内での無登録農薬の使用
- 中国産ギョーザ事件
- メラミン混入事件、事故米流通事件
- 原産地/期限等の偽装表示の発覚

**消費者の食品の安全性に対する不安感・不信感の高まり**

徳島県食品衛生指導計画策定懇話会  
・リスクコミュニケーション

### 徳島県食品衛生監視指導計画

18

### 徳島県食の安全・安心基本指針に基づく具体的施策

#### <8つの柱>

- (3)安全・安心な食品等の製造・加工と流通
- (4)食の安全・安心に関する知識の普及と相互理解の推進
- (5)農林水産物、加工食品に関する調査研究及び試験検査
- (6)人材育成と自主管理体制の支援



### ③-1 監視指導体制の強化

- ・ 徳島県食品衛生監視指導計画策定懇話会



**<委員>**  
 学識経験者、生産者団体  
 事業者団体、消費者団体  
 食品関係団体、有識者等  
 14名  
 年3回程度開催

- ・ 製造・加工・調理、販売施設の監視指導  
 食品の流通の広域性、規模、取扱食品の特殊性、危害の重要度により  
 4つのランクに分類し、監視指導を実施  
 H20年度結果：対象施設数27,078 目標施設数8,951 実施施設数16,937



<お盆前・青監視> <食品の表示監視> <県内の直産市・直売所>

- ・ 残留農薬検査、食品添加物検査、微生物検査等の実施

H20年度結果

保健環境センター、食肉衛生検査所  
 予定検体数1,225 実施検体数1,464 違反検体数 0  
 保健所  
 予定検体数1,035 実施検体数1,186 違反検体数20



<保健環境センター>



<徳島保健所>



<野菜・果実等の残留農薬検査>



<畜産品・水産品中の合成抗菌剤検査>

### ③-2 食肉検査体制の強化

- ・ と畜場、食鳥処理場における検査体制の強化  
 家畜伝染病の排除等厳格なと畜検査、食鳥検査  
 BSE(牛海綿状脳症)を含むTSE(伝達性海綿状脳症)検査  
 O-157等の微生物検査  
 GFAP(脊髄の組織の付着残存率)検査
- ・ 食肉処理工程、施設の衛生指導
- ・ 残留有害物質(動物用医薬品)のモニタリング検査



<食肉衛生検査所>



<生体検査>



<枝肉・内臓検査>



<BSE検査>

### ③-3 適正な表示の推進

- ・ 販売施設における表示の監視  
 JAS法、景品表示法、健康増進法など、他法が定める表示規制についても、関係機関と連携協力して監視指導を実施

#### ■食品衛生法に基づく表示事項

- ・ 名称
- ・ 消費期限又は賞味期限
- ・ 製造者氏名、製造所所在地等
- ・ 食品添加物
- ・ アレルギー物質を含む旨(えび・かに・卵・乳・小麦・そば・落花生)
- ・ 保存方法
- ・ 遺伝子組換え食品
- ・ その他品目ごとの表示事項

### ③-4 自主管理体制の推進

- ・ 特定給食施設等への指導  
 学校、保育所、老人福祉施設、障害者施設等
- ・ 食品衛生推進員(県内に550名)による巡回指導  
 H20年度結果:10,296施設



<食品衛生の基礎>



<ノロウイルス>



<かびのパンフレット>

保健福祉部

### ④-1 正しい食情報の知識と理解の促進

- 食の安全・安心に関する情報提供  
ホームページ、パンフレット、講習会、シンポジウム等  
報道発表(緊急発表、監視指導計画及びその実施結果)



<親子体験教室>



<意見交換会>



<出前講座>








25


保健福祉部

### ⑤-3 食品の安全確保に係る試験検査体制の強化


- 試験検査の業務管理  
試験検査機能を強化するため、試験検査機器の充実、調査研究の推進、検査技術の向上を図るとともに、外部精度管理調査の受検等により、試験検査の信頼性の確保に努める



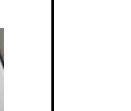
<さつまいも>




<しいたけ>




<すだち>




<いちご>




<輸入ごぼう>



<輸入ねぎ>



<冷凍かぼちゃ>




<冷凍いんげん>


26

保健福祉部

### ⑥-1 関係各局の担当者の育成強化と連携

- 監視指導・検査担当研修会の実施  
食品衛生監視員、と畜検査員、食鳥検査員研修等





<獣医系学生対象インターンシップ事業>

### ⑥-2 生産者、食品関係事業者の育成指導

- 食品関係事業者講習会等の実施

対象者	開催回数	受講者数
食品衛生推進員	12	369
食品衛生責任者(養成講習会)	12	788
食品衛生責任者(再教育講習会)	36	1,478
食品営業施設従事者	42	1,615
集団給食施設従事者	27	1,623
一般住民	34	834
その他(学生実習など)	47	1,138

<徳島県:平成20年度実施状況>

27

保健福祉部

### ⑥-3 指導員等の育成指導

- 食品衛生推進員等の活動支援  
H20年度巡回指導実績: 10,296施設



<一日食品衛生相談所>



<消費者懇談会>



<食品衛生指導員大会>

### ⑥-5 自主管理体制の推進

- HACCPの考え方による自主管理の普及  
食の安全・安心取組宣言推進県民運動への支援(登録:42事業所)



H A C C P  
Hazard Analysis Critical Control Point  
危害 分析 重要必須 管理 点



<HACCP基礎研修>

28

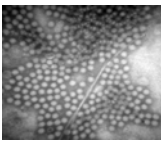
保健福祉部

### ⑦-1 違反食品の広域流通に対する対応

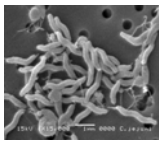
- 関係機関及び関係自治体と速やかに情報共有を図るとともに、連携して違反に係る食品等の流通防止等の措置を講じる
- 平成21年度「徳島県広域監視機動班」を設置  
(JAS法、景品表示法、健康増進法担当部局との合同監視を実施)

### ⑦-2 食中毒に対する対応

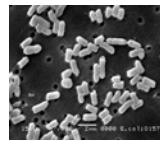
- 食中毒が発生しやすい業種及び大量調理施設に対する重点的な監視指導
- 特に、「ノロウイルス」、「カンピロバクター」、「腸管出血性大腸菌」対策について普及啓発



<ノロウイルス>



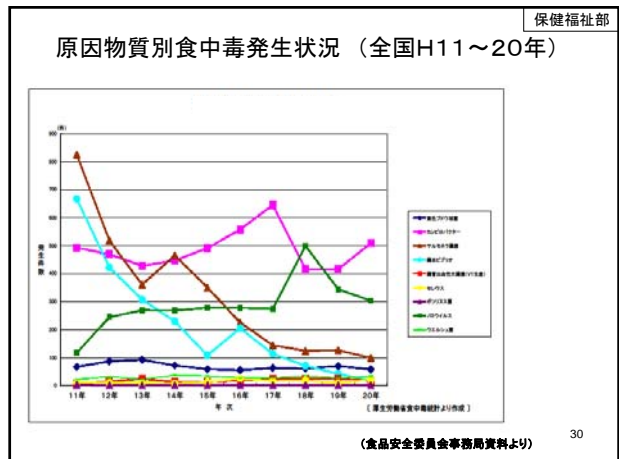
<カンピロバクター>



<腸管出血性大腸菌>

(食品安全委員会事務局資料より)

29



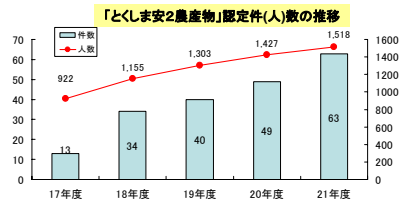
食中毒発生状況（徳島県H19～21年度）

発生日	原因施設	発生場所	患者数	原因食品	原因物質
H19年6月	飲食店営業	徳島市	19	不明(鶏肉料理)	カンピロバクター
H20年3月	飲食店営業	徳島市	77	不明(配達弁当)	ノロウイルス
H20年3月	飲食店営業	上勝町	5	不明(弁当)	ノロウイルス
H20年7月	飲食店営業	阿南市	24	不明(バーベキュー)	カンピロバクター
H21年1月	飲食店営業	垂井町	34	不明(和食)	ノロウイルス
H21年1月	飲食店営業	阿南市	4	不明(弁当)	ノロウイルス
H21年3月	飲食店営業	徳島市	3	不明(鶏レバ刺し)	カンピロバクター
H21年10月	飲食店営業	徳島市	7	不明(焼き鳥等)	カンピロバクター
H21年12月	飲食店営業	つるぎ町	19	不明(弁当)	ノロウイルス
H22年1月	飲食店営業	阿南市	61	不明(宴会料理)	ノロウイルス
H22年3月	飲食店営業	松茂町	23	不明(弁当)	ノロウイルス

③-1 新鮮とくしまブランド戦略

1. 「とくしまブランド」の供給力強化
  - 流通施設の整備
  - 出荷の安定化
  - 新品種等の育成
  - 生産基盤の整備
2. 「とくしまブランド」の安全性・品質を確保
  - とくしま安農産物の推進
  - とくしま安心認証
3. あらゆる手法を駆使した「とくしまブランド」の浸透
  - 「新鮮 なっ! とくしま」号によるPR
  - 県統一ロゴマーク
4. 多様な販売チャネルの構築
5. 食育・地産地消の推進
6. 「とくしまブランド」の輸出と知的財産権の保護

③-2 とくしま安2(あんあん)農産物認証制度



販売戦略の展開



(「新鮮 なっ! とくしま号」によるPR) (マッチングフェアの開催)

③-3 環境負荷の少ない農業生産活動の推進(エコファーマーの育成・支援)

とくしま「こだわり農産物」フェアin四国ツアー

エコファーマー認定証授与及び功労者感謝状授与式

地産地消・とくしま「こだわり農産物」マッチングフェア

省CO2「見える化」のモデル的試行

認定数の推移

年度	人数
H19	117
H20	826
H21	1,512

③-4 農業生産活動における資源の循環利用等の推進

家畜排せつ物処理施設の整備、堆肥の流通促進等畜産バイオマス資源の循環利用推進

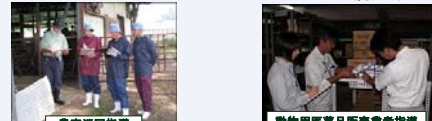
家畜排せつ物の堆肥化率  
H19 : 92% → H20 : 91% → H21 : 91%(見込み)  
(平成22年度目標値:97%)



③-5 飼料、動物用医薬品等の適正使用の徹底

安全・安心な畜産物を生産するため監視指導実施

- ◆飼料の適正使用・管理に関する巡回指導等
  - 飼料・飼料添加物の適正使用に関する巡回指導  
H19 : 172戸 → H20 : 129戸 → H21 : 130戸(見込み)
  - 牛由来タンパク質混入防止のためのサンプリング・分析  
H19 : 30検体 → H20 : 30検体 → H21 : 30検体(見込み)
- ◆動物用医薬品の適正使用・管理に関する巡回指導
  - 動物用医薬品販売業者(延べ)  
H19 : 137店舗 → H20 : 127店舗 → H21 : 130店舗(見込み)
  - 畜産農家(延べ)  
H19 : 950戸 → H20 : 653戸 → H21 : 800戸(見込み)
  - 診療獣医師(延べ)  
H19 : 21人 → H20 : 16人 → H21 : 20人(見込み)



鳥家巡回指導

動物用医薬品販売業者指導

### ③-6 家畜伝染病発生時に対する対応

#### ■家畜伝染病予防法に基づく家畜伝染性疾病的発生予防・まん延防止

##### ◆高病原性鳥インフルエンザ対策

○防疫演習の実施(毎年実施)

H19 : 阿南市 → H20 : 徳島市 → H21 : 神山町

○全戸立入検査・検査検体数

H19 : 1,179検体 → H20 : 1,145検体 → H21 : 1,516検体(2月まで)

##### ◆牛伝達性海綿状脳症(BSE)対策

○24ヶ月齢以上の死亡牛全頭について検査

H19 : 278頭 → H20 : 295頭 → H21 : 228頭(2月まで)



防疫演習



養鶏農家における緊急消毒

### ③-7 有害プランクトンのモニタリング調査

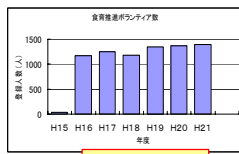
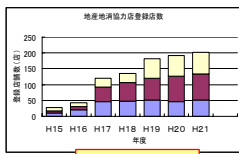


採水調査

年	発生月	発生水域	原因プランクトン	毒量(MU/g)	貝の種類
H11	6月	播磨川河口	7ルキバグワム 好時時	5.0	アサリ
	12月	内の海	7ルキバグワム 好時時	6.8	カキ
H12	7月	播磨川河口	7ルキバグワム 好時時	2.2	アサリ
H13	6月	小松島湾	7ルキバグワム 好時時	2.9	アサリ
	12月	内の海	7ルキバグワム 好時時	2.4	アサリ
H14	発生なし				
H15	6月	小松島湾	7ルキバグワム 好時時	16.9	アサリ
	7月	内の海	7ルキバグワム 好時時	2.9	カキ
H17	6月	小松島湾	7ルキバグワム 好時時	4.2	カキ
H18	3-4月	沖洲	7ルキバグワム 好時時	3.8	カキ
	3-4月	播磨川	7ルキバグワム 好時時	16.6	カキ
	3-4月	小松島湾	7ルキバグワム 好時時	32.3	カキ
	3-4月	種泊湾	7ルキバグワム 好時時	14.4	カキ
H19	4月	吉野川	7ルキバグワム 好時時	2.0	ヤシロシ
	4月	内の海	7ルキバグワム 好時時	2.7	カキ
	6月	種泊湾	7ルキバグワム 好時時	2.3	カキ
	6月	種泊湾	7ルキバグワム 好時時	2.1	カキ
H19	発生なし				
H20	4月	小松島湾	7ルキバグワム 好時時	2.3	カキ
	6月	沖洲	7ルキバグワム 好時時	3.4	カキ
H21	6月	小松島湾	7ルキバグワム 好時時	33.8	カキ
	発生なし				

貝毒原因プランクトン(アレキサンドリウム カチネラ)

### ③-8 「食と農の連携活動」の促進



11月を徳島県における「地産地消月間」と定め様々な取組みを展開



地域における食育の推進

子どもたちに身近な「食」テーマにした動画を募集



おいしい地産地消「なっ」とくし家交流会開催

地産地消協力店(農産店)で地産地消モデル事業を推進

各種イベントに参加し食育を推進

食育動画展

### ④-1 自主管理体制の推進

- 学校給食衛生管理講習会
  - 徳島県学校給食衛生管理推進研修会
  - 栄養教諭・学校栄養職員研修会
  - 研究授業方式による衛生管理研修
- 徳島県学校給食衛生確保指導
  - 物資委員会での衛生管理指導
  - 学校給食用パン品質検査会



基礎講演と調理員による衛生管理対策実践発表



「学校給食法」と「学校給食衛生管理基準」についての講義

### ④-2 「食と農の連携活動」の促進

- 学校給食を通じた食と農の連携
  - 学校給食における地産地消の推進
  - 食育推進モデル地域における取組み



地域の農業後継者団体とのもち米づくり

- その他の取組み
  - 食育啓発資材の作成
  - 安全体制の整備



あわ食育かるた